

# 国際交流拠点の再構築について

資料3

## 国際交流拠点の必要性

### 留学生受け入れの促進

留学交流のねらい・目的・・・

- ・優秀な外国人留学生との交流や切磋琢磨を通じた日本人学生等の「内なる国際化」の促進
- ・我が国の大学のグローバル化と国際競争力強化
- ・特に発展途上国の人材育成支援

さらなる交流の活性化が必要

### 日本留学の障壁を除くために

#### 受け入れ時の障壁

- ・「日本語の壁」
- ・住居確保の困難性
- ・生活習慣の違い

新規来日時のケアや日常生活上のサポートの必要性

#### 帰国後の課題

帰国後のフォローの不足

## - 国際交流会館を活用して -

### JASSO国際交流会館をめぐる経緯

< 事業仕分け（H22年4月）の指摘 >

- ・留学生宿舎は地方公共団体や民間、大学で整備すべき。
- ・受益者が極めて限定的で公平性に欠ける（留学生13万人（当時）に対し、国際交流会館の収容2600人）。むしろ、民間アパートの連帯保証人問題の解決に向けた対応等を行うべき。

< 独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針 >

（平成22年12月7日閣議決定）

大学・民間等への売却を進め、平成23年度末までに廃止する。

売却済み  
の7館  
・仙台第一  
・仙台第二  
・祖師谷  
・駒場の7館  
・大阪第一  
・大阪第二  
・広島

< 独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針 >

（平成24年1月20日閣議決定）

やむを得ない事情により売却が困難な会館については、廃止の進め方について現行中期目標期間中に結論を得る。

未売却の6館  
・東京  
・札幌（合築）  
・金沢（合築）  
・兵庫  
・福岡（合築）  
・大分

国際交流拠点にふさわしい条件を備えた施設があれば、有効活用してはどうか

どのような要件を満たす施設が適切か

「JASSOの在り方に関する有識者検討会」において検討

## 宿舎を活用した「交流の場」の形成

## 多様な主体が集い刺激し合う国際交流拠点の再構築

（留学生と日本人学生、研究者、企業人など）

【取組の例】

留学生の他、日本人若手人材（研究者、企業人等）の受け入れ

セミナーやシンポジウムの開催

（近隣施設との連携、研究者や企業人、各省庁、在京各国大使館等の招聘）

お台場では国際交流村の研究機関との連携も

### 日常生活上のサポート

RA を中核としたサポートや日常的な交流

RA: レジデント・アシスタント。留学生の相談等を行う日本人学生。

【取組の例】

意欲的でハイレベルな入居者を確保  
宿舎のモデルとして全国に情報提供  
国費留学生に加え、外国政府派遣留学生受け入れにも活用

### 帰国後のフォロー

日本留学OBのネットワークの拠点

【取組の例】

宿舎OBネットワーク継続の仕組み作り  
メーリングリスト等による定期的な情報提供、同窓会の開催